



平成30年度 大阪市民活動総合支援事業
社会課題解決のためのプラットフォーム構築業務
＜大阪市民活動フォーラム＞
つながる うまれる “ワクワク”交流ライブ
実施報告書

平成31年3月18日
株式会社アクセプト

●実施成果

フォーラムへの満足度はプラス評価92%

「非常によかった」、「よかった」のプラス評価が92%。

最も評価が高かったのはワークショップ

連携・協働に対するポテンシャルは高く、「ぜひ協働・連携をしようと思う」、「協働・連携について検討したい」の前向きな回答で次いでパネリストの具体事例紹介、フォーラムの内容(企画・構成)と交流会と続く。

連携・協働に対するポテンシャルは比較的高い

「ぜひ協働・連携をしようと思う」、「協働・連携について検討したい」の前向きな回答で75%。「協働・連携が難しい」と回答した方の理由として「企業ではないため」とあったことから、個人の活動家ないしは資源を持たない任意団体などの可能性があり、こうした方々の底上げをする必要があると考える。

参加して自身の気持ちに良い変化がみられた

『「誰もが笑顔輝く大阪」実現に向けて何が必要かがわかった』が最も多く、次いで「自身の抱えている課題解決につながるヒントを得られた」、「日ごろの活動を改めてふりかえる機会となった」の2つが続く。

ねらいであった「社会課題解決への意識と行動を喚起し、第一歩を踏み出す行動機会の提供」について伝わったと考える。

参加いただいた方には「社会課題解決に向けた市民活動について、そのための協働・連携の必要性について考える」機会創出だけでなく、人脈づくり、他者との協働ワークによる手法の体感理解等を通じ、様々な価値を複合的に実感していただくことができたと思う。

●成果物(テーマ別提言)(5件)

【大阪のさらなる活性化】

大人も子どもも心が豊かになることで地域力が上がる。

まず自分を大切に。自分が豊かであるなら他人に優しくなれる。

子どもだけ、高齢者だけ、〇〇だけ...と区切らず、多様な支援団体がつながれる場をたくさんつくっていくこと。その場づくりを通じ、コーディネートできる人を増やす、

【誰もがいきいきと暮らせる大阪】

人間は万物の王者だという説。けれど物理学レベルなら皆同じ。

人間のこと、もっと学ぶ必要がある。思考を地球規模に広げることで些細なことは気にならなくなるもの。寛大さ、ゆとりある心がある課題を抱えた方と共存するには不可欠。

【子育てを応援する大阪】

プラス「子育て」、プラス「子ども」という発想で情報を再編集。

活動主体にとっての新たなイベント、新たな事業活動に。

もし現状の事業活動に課題がある、悩みがあるなら必ず幅が広がる、深くなるであろうことは間違いない。

【高齢者が輝く大阪】

可能性を狭めないこと。高齢者はいつまでも輝ける。

高齢者だからここまでは難しいだろう、などという押し付け思想では大事なアイデアが消えてしまう。

高齢者自身がどうありたい、というのをいかに共有していくかということをお忘れはいけない。

【いざという時も安心な大阪】

人づくり。おせっかいなおじさん、おばさんをいかに増やしていくか。

他人を放っておけないから構いたくなる。そういう人たちが地域の柱となり、大きな力となる。

そうして安心・安全なまちづくりにつながると思う

●成果物(テーマ別連携・協働モデルプラン)(7件)

ワークショップから誕生した実現可能性の高い協働モデル

★【大阪のさらなる活性化】自分の活動の場、スクールを地域に開放！活用(プロジェクト)

Co.to.hana × 浅野さん(浅野経営研究所) × 畑中さん(個人活動、エステティシャン)
× 中嶋さん(つくだ行政書士)

★【誰もがいきいきと暮らせる大阪】魔法のことは「えーやん！」(プロジェクト)

柳川さん(てつたろう) × 山崎さん(Life hospitality management service)
× 宮脇さん(淀川区まちづくりセンター)

★【子育てを応援する大阪】子育て親の笑顔と健康(プロジェクト)

松本さん(株式会社プラスキッズ) × 木佐貫さん(まごころへそファミリー)

★【子育てを応援する大阪】子どもたちにプログラミングを広める！(プロジェクト)

河合さん(株式会社アルファテクノ) × 森田さん(弁天地域活動協議会)

★【高齢者が輝く大阪】65～70歳代以上の男性の集いの場を地域でつくる(プロジェクト)

森さん(淀川助け合い) × 柴田さん(ひとしごと館)

★【高齢者が輝く大阪】(人が)住みなれたまちで人生をまっとうする(ためのプロジェクト)

吉見さん(入浴サービス株式会社) × 鳴川さん(認知症予防サポート協会) × 中嶋さん(つくだ行政書士)

パネルディスカッションから誕生した実現モデル

★【子育てを応援する大阪】ふわり子育てよりそい隊ステッカーをてつたろうにて設置

(参考)パネリストとの協働希望(メッセージカードより)

- ★福田さん(にしよどにこネット) × 松本さん(株式会社プラスキッズ) ※いのちのふれあい授業
- ★福田さん(にしよどにこネット) × 宮脇さん(淀川区まちづくりセンター) ※いのちのふれあい授業
- ★福田さん(にしよどにこネット) × 山口さん(個人) ※新たな広報連携

- ★柳川さん(てつたろう) × 天神亭ひれ克さん ※てつたろうでの落語寄席
- ★柳川さん(てつたろう) × 松本さん(株式会社プラスキッズ) ※会社経営の手腕
- ★柳川さん(てつたろう) × 山崎さん(Life hospitality management service) ※LGBT雇用

- ★田中さん(Co.to.hana) × 山崎さん(Life hospitality management service) ※LGBT雇用
- ★田中さん(Co.to.hana) × 上谷さん(ARC大阪日本語学校) ※デザインアドバイス
- ★田中さん(Co.to.hana) × 宮脇さん(淀川区まちづくりセンター) ※コミュニティデザイン
- ★田中さん(Co.to.hana) × 河合さん(株式会社アルファテクノ) ※コミュニティデザイン
- ★田中さん(Co.to.hana) × 田中さん(エコスペースゆう) ※コミュニティデザイン
- ★田中さん(Co.to.hana) × 鳴川さん(認知症予防サポート協会) ※コミュニティデザイン
- ★田中さん(Co.to.hana) × 松本さん(株式会社プラスキッズ) ※コミュニティデザイン

- ★中津さん(城南女子短期大学) × 山口さん(個人) ※新たな広報連携
- ★中津さん(城南女子短期大学) × 河合さん(株式会社アルファテクノ) ※同様にハブの役割を果たしたい
- ★中津さん(城南女子短期大学) × 松本さん(株式会社プラスキッズ) ※気軽な場づくり追求

3月10日(日)大阪市市民活動フォーラム実施詳細

- タイトル : 大阪市市民活動フォーラムつながる・うまれる“ワクワク交流ライブ”
- 日時 : 2019年3月10日(日) 13時00分 ~ 16時30分受付開始:12時30分~
- 会場 : 大阪YMCA会館 YMCAホール
- 参加費 : 無料(原則事前申込み制)、当日参加も可
- 主な対象 : 市民活動に取り組まれている団体、個人の方。
市民活動に興味、関心のある方なら誰でも。(個人、団体問わず)
- 目標集客数 : 100~180名(1団体3名まで/応募多数の場合は先着順) ※3~4人×15グループ
- 主催 : 大阪市

<ねらい> ●これまでの5回のテーマ別研究会や取材の成果を広く発信する

●社会課題解決への意識と行動を喚起し、第一歩を踏み出す行動機会を提供する

<仕掛け> ●ゲストとつながる工夫:各パネリストの事例紹介、テーマ別提言のディスカッションの合間にメッセージカードの記入

●参加者同士がつながり、生み出す工夫:好きなことや関心ごとが共通する参加者グルーピングにより、深いディスカッションと確実なアウトプットにつなげる

※各パネリストには、当日共有後返却いただき、メッセージカードを後日お送りする。

<フォーラム構成>

- 学ぶ<社会課題解決の糸口を知る>これまでの5回の研究会状況共有、成果(まとめ~協働モデルプラン)報告
- 深める<具体事例を通じて理解する> 好事例を知ることを通じて、社会課題解決への思いやきっかけ、プロセスを理解する
- 体感する<自分ごととして考えてみる> 協働モデルプランをベースに、自分ならどんな関わりができるかの視点から自身の強みを自己分析し、可視化し、同じ思いを持つ参加者たちと情報を共有する

■ 構成

13:00~13:02	開会の案内(司会) (サマリー説明はプログラム配布にて割愛) 2分
13:02~13:10	●プロジェクト成果発表(8分) 各研究会の様子/テーマ別まとめ発表/「社会課題解決へのアクション」協働モデルプラン/取材で繋がった方々
パネルディスカッション	
13:10~13:15	●堀さん、パネリスト登壇(5分)
13:15~13:20	●アイスブレイク(5分)・会場との一体感を持たせる
13:20~13:30	●パネリストについて知る(10分) ・自己紹介 @2分×5団体
13:30~14:10	●展開1:事例から学ぶ!社会課題解決へのアクション(40分) <2巡> ①<一問一答式>ねらい、団体として活かした強み、具体内容、成果・手ごたえ @5分×5団体 ②<一問一答式> 実施プロセス @3分×5団体 1グループに各パネリストへのメッセージカード(A6サイズ)(事前に設置)
14:10~14:50	●展開2:各研究会まとめ・協働モデルプランを受けてのトークセッション(40分) <2巡> ・コーディネーターからの導入 ・コーディネーターとパネリストの質疑応答 @2分×5団体 10分 ・他のパネリストへの共感コメント、その流れで自団体の強みを別角度からアピール@5分×5団体 25分 <この後で、メッセージカード回収し、メッセージの紹介各パネリスト分1~2件×5 5分>
14:50~15:10	まとめ 各パネリストからのメッセージと提言の共有(20分) ・コーディネーターから、各テーマに対する提言化への振り⇒テーマに沿ってご意見を伺う @3分×5団体 15分 ・コーディネーターより提言まとめ 5分
15:10~15:20	休憩
ワークショップ(※事前アンケートにより興味関心別グループ構成となっている想定) 3~4名×15グループ (60分)	
15:20~16:20	・導入5分 ファシリテーション(堀さん) 各グループに1名リーダーを決めておいてもらう。 <自己紹介タイム>自己紹介シートに記入、作成 5分 当シートを用いてグループ内自己紹介 @1分×6名 6分 ・「社会課題解決へのアクション」協働モデルプランをさらに実現可能とするためのアイデアプレスト 10分 ※協働モデルプラン実現シート(9分割A3シート) ・グループ発表(代表的なグループ) @3分×3グループ 9分 <交流タイム> 島に1名は残り、協働モデルプラン実現シートの空欄を埋めてくれる人を探す(名刺交換等含み)25分 ※グループシートは全て回収。後日、事務局が特設サイトからレポートとしてアップすることを告知 ・交流タイムの締め(堀さん) 5分
16:20~16:25	閉会の挨拶(大阪市民局様) 5分
16:25~16:30	スマホアンケート実施(QRコード読み込み⇒実施、スマホアンケートができない方にはペーパー配布) 5分

3月10日(日)大阪市市民活動フォーラム参加者及び集客について

素人寄席・てんてん	天神亭ひれ克	個人	小野
NPO法人 インターナショナルフレンドシップクラブ	林 樹一郎	個人	川名哲人
株式会社アルファテクノ	河合 貴之	個人	木本陽月
淀川たすけあい	森 実千秋	個人	木本貴也
淀川たすけあい	川内ツキコ	NPO法人フォロ	中嶋千賀
Life hospitality management service	山崎あおい	大阪ふうせんバレーボール普及会	石井 勝治
入浴サービス株式会社	吉見浩一	NPO法人 Co.to.hana (インターン)	尾形郁哉
淀川区まちづくりセンター	宮脇 優子	NPO法人 Co.to.hana (インターン)	松橋慎之介
入浴サービス株式会社	小浦 圭太	株式会社プラスキッズ	松本 淳
千代崎連合振興町会	松野 章宏	港区まちづくりセンター 支援員	梶原 千歳
山之内スマイル	阪井 朱実	磯路地域活動協議会	佐野 耕司
河内長野市立 市民公益活動支援センター	新西 宏之	磯路地域活動協議会	古島 智枝子
つかもと駅前 相談室(行政書士)	中嶋 士朗	個人	畑中 美幸
ARC大阪日本語学校	上谷 崇之	NPO法人 Co.to.hana (インターン)	柴田英徳
個人	池本睦子	浅野経営研究所	浅野 宗克
エコスペースゆう	田中邦子	個人	上滝 昌信
個人	堀内 登久子	セブンゆう	井上れい子
個人	山口 善之	まごころヘソファミリー	木佐貴 誠
個人	石田	まごころヘソファミリー	木佐貴 希
個人	山本(勇)	オフィス・マツシマ	松島 清
個人	橋本	株式会社フォーシックス	マエヒラ様
		新日本カレンダー株式会社	平井
		認知症予防サポート協会	鳴川 正
		個人	大宮 玲恵子

参加者合計:45名

内訳

任意団体 11	NPO 6	企業 9	地域 4	中間支援 2	個人 13
------------	----------	---------	---------	-----------	----------

<成果と課題>

実質的には2月中旬頃から申込が入り始めた。現場が非常に多忙な3月度という時期設定だけに当日キャンセルのリスクは常に考え、3/7のぎりぎりまで募集を行った。午後から雨予報等、直前まで集客には不利な条件が揃ったものの、15の協働モデルプランについて個別にワークをしてもらいぎりぎりの人数、45名は確保できた。

課題として、予め見込んでいた研究会メンバー並びに取材対象者のご参加が伸び悩んだことが上げられる。参加できない理由として多かったのが、地域の場合、卒園式等行事参加等、地域の行事がバッティングしたこと、また3.11関連の防災イベント等、この時期に実施されたり等、大阪各地のイベントにおいて、10日という日は集客が割れたことが推察される。

<高齢者が輝く大阪>

キレル高齢者、とかあるが、それはなぜ？

人生の大先輩。互いに学び合い、尊敬し合える関係性づくりはできないか。

<いざという時も安心な大阪>

共に助け合う。

これはどちらかの働きかけがないとできません。いい意味でおせっかい精神が必要かもしれない。

等、方向性が出たものの、どのテーマも最終的には「集い考える居場所」が必要となった。

大阪市市民活動総合ポータルサイトに掲載している取材記事も当事務局が平行して進めていた。

取材を通じて、社会課題解決のためのヒントもたくさんいただいた。

こうして得たさまざまな情報を分析し、結果、課題解決への第一歩を踏み出す、15の仮説案がまとまった。

- ①男性はどう地域に関わる？世直し井戸端会議
- ②女性ができる地域貢献は？世直し井戸端会議
- ③特技や資格を活かしてできる身近な社会貢献を**考えよう**
- ④まちを誇りに思うために！楽しく歴史を学ぶ方法を**考えよう**
- ⑤地域のディープな魅力を発信する広報について**考えよう**
- ⑥誰にでも！半歩ツツこむ愛あるコミュニケーション**研究会**
- ⑦外から見た大阪～大阪人の知らない大阪の魅力研究会
- ⑧行きたくなる！居心地がいい！“たまり場”リフォーム研究会
- ⑨子育て親にとつての「あったらいいな！」研究会
- ⑩介護支援者にとつての「あったらいいな！」研究会
- ⑪地域みんなでまちを守るために！楽しく学ぶ防災・防犯研究会
- ⑫ITについての地域のお困り解決やコミュニケーション促進研究会
- ⑬子どもも高齢者もみんなで！歌、ダンスによる健康増進研究会
- ⑭近所に住む外国人との心地いい関係づくり研究会
- ⑮社会的マイノリティーに寄り添う魔法の**ことば研究会**

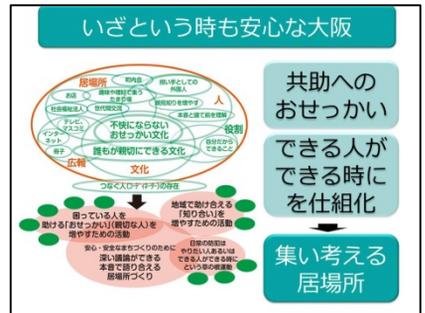
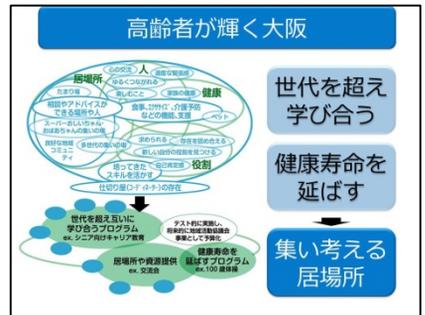
これには研究会メンバーをはじめ、つながった方々からたくさんのご意見やアドバイスをいただいた。

午後からのワークショップではこれらのテーマごとに建設的な意見を交わし、ワイワイ楽しく交流いただければ。

この事業を通じ、関わった皆さまは地域、社会の課題解決に向け、日々向き合い、活動をされている。

- ・社会課題解決によって誰かが笑顔になる。
- ・市民活動、地域活動とはその誰かの笑顔をつくること。
- ・その笑顔をつくる人たちが出会い、協働しあうこと。

たくさんの笑顔があちこちに！
その可能性をみんなで考える本フォーラム、どうぞ最後までお楽しみください。



研究会メンバーたちからのご意見もふまえ、15の協働モデルプランができました！

本日のワークショップではこのテーマで小グループごとの交流をいただきます。普段感じていること、「こんなことできるよ！」などいろいろ話しましょう！

- ①男性はどう地域に関わる？世直し井戸端会議
- ②女性ができる地域貢献は？世直し井戸端会議
- ③特技や資格を活かしてできる身近な社会貢献を**考えよう**
- ④まちを誇りに思うために！楽しく歴史を学ぶ方法を**考えよう**
- ⑤地域のディープな魅力を発信する広報について**考えよう**
- ⑥誰にでも！半歩ツツこむ愛あるコミュニケーション**研究会**
- ⑦外から見た大阪～大阪人の知らない大阪の魅力研究会
- ⑧行きたくなる！居心地がいい！“たまり場”リフォーム研究会
- ⑨子育て親にとつての「あったらいいな！」研究会
- ⑩介護支援者にとつての「あったらいいな！」研究会
- ⑪地域みんなでまちを守るために！楽しく学ぶ防災・防犯研究会
- ⑫ITについての地域のお困り解決やコミュニケーション促進研究会
- ⑬子どもも高齢者もみんなで！歌、ダンスによる健康増進研究会
- ⑭近所に住む外国人との心地いい関係づくり研究会
- ⑮社会的マイノリティーに寄り添う魔法の**ことば研究会**

社会課題解決によって誰かが笑顔になる。市民活動、地域活動とはその誰かの笑顔をつくること。その笑顔をつくる人たちが出会い、協働しあうこと。たくさんの笑顔があちこちに！

2 パネルディスカッション

<パネリスト>

- ①NPO法人 にしよだにこネット 代表理事 福田 留美
 - ②旬菜鮮魚「てつたろう」オーナー
株式会社 フォーシックス 代表取締役 柳川 誉之
 - ③大阪城南女子短期大学 現代生活学科 准教授 中津 功一郎
 - ④NPO法人 Co.to.hana コミュニティデザイナー 田中 佐也加
 - ⑤南市岡地域活動協議会(港区) NPO法人 南市岡すき屋根ん
理事長 松井 信樹
- <コーディネーター> 認定NPO法人 サービスグラント事務局 堀久仁子

●福田

大阪市長賞受賞「いのちのふれあい授業」

子どもを通じて、保護者に授業のことを広報。

授業終わりに家庭の中でいのちの会話を広げられるよう、宿題を工夫。

西淀以外でも地域に住んでいる妊婦さんを担い手とし、授業を実施。

命のはじまりの大きさ、どれくらい？お母さんのおなか何か月くらい？

クイズや妊婦さんお腹を触ったり、交流することで命の尊さを体感理解する。

中高生向けには離乳食試食、おむつ替えた意見、抱っこさせ、鳴き声を実際に

聞いてみる等のプログラムを実施。

<ねらい>

地縁の希薄な都会、核家族化で、妊婦や赤ちゃんとおふれあう機会の少ない子どもたちに「妊娠・出産・子育て」についてリアルな交流から「いのちの大切さ」を実感する。小学生は絵日記に家族からのメッセージ記入欄。家庭で「いのちについての会話」をするきっかけ作り。中高生は自分が親になることについて考えるきっかけ作り。

<団体として活かした強み>

地域型の当事者ネットワーク、多様な参加の入り口、プロジェクト化による主体的な企画作り(教材開発、ノウハウ共有)、行政・研究者との連携(冊子作成)

<成果・手ごたえ>

- ・学校との連携、地域の新たな担い手育成、
- ・妊娠期から顔の見えるつながり⇒地域力UP

●柳川

ホワイト企業アワード2018

障がい者雇用の促進による強みを生かし合う先進的な取り組み

家族愛をもって、生きづらさを抱える人たちの居場所創造に務める。

個性、長所、欠点まですべて認め合い、助け合い、共有し合っていく。そういう場所をつくることで来られる方(お客様)も気持ちいい店としたい。

物理的な事だけでなく、心の拠り所がどこにあるかで人の生きづらさが取り除かれるのではないかと信じ、経営してきて昨年度、ホワイト企業賞受賞。

居酒屋の仕事は障がい者には難しすぎると思われるが、業務分析、繰り返し研修、雇用、課題改善…繰り返しやってきて2010年によく一人の従業員が定着した。

<ねらい>

自殺者を減らしたい 居場所を創りたい

<団体として活かした強み>

15歳から70歳までの幅広い年齢層が在籍自然と役割が分担できた

<成果・手ごたえ>

スタッフがこれまで以上に優しくなった



●中津

子育て支援スペース「JONAN こどもひろば KOMAクル」

東住吉区には子育て支援をしているところはたくさんあるが、一人で行くには気がひける。買い物している間だけの自由さ、気軽さ。

ゆるいお母さん方とのつながり。子育て支援スペースに積極的に足を運びかけ、入り口となる場所をつくることができたなら、ということで駒川商店街の空き店舗を利用して始めた居場所。

<ねらい>

「子どもと気軽に立ち寄れる場がほしい」「子育ての悩みを聞いてほしい」といった地域で生活する保護者の要望に応える拠点を駒川という大きな商店街の中に！

<団体として活かした強み>

大学の専門教員、幼稚園教諭の協力のもと、特別支援が必要な子どもとその家族の相互交流や、子育てスキルの獲得、参加者同士の学びあいをサポートできる

<成果・手ごたえ>

利用者が常にいることももちろんだが、乳幼児をもつ保護者が「地域のつながりの中で子育てをしている」という安心に気がつくことを目標にしている。

●田中

浪速区委託事業「ひとしごと館」

「デザインで社会を変える」をミッションに活動するNPO法人Co.to.hanaが運営する地域プロジェクト

- ・「地域住民が生きる社会」を目指す
- ・自分の特技や趣味を活かして活動したい人とちょっとした困りごとを抱えている人をつないでいる
- ・浪速区に拠点を持つ
- ・定年退職者や主婦など地域と接点が少なくなった人が対象

<ねらい>

高齢化による社会保障費の増大

→健康寿命の延伸、高齢者が活動できる機会づくり

コミュニティの希薄化による地域の担い手減少

→あらゆる人が生きがいをもち地域で活動できるコミュニティづくり

<団体として活かした強み>

- ・コミュニティデザインのスキル、考え方
- ・デザインの視点がある
- ・幅広いまちづくりのプロジェクト経験

<成果・手ごたえ>

- ・やりがいをもち社会参加をする高齢者の増加(NHKからの取材も)
- ・『小商い』として継続的に活動できるコンテンツ
- ・浪速区を中心とした地域のコミュニティ拠点

●松井

防災防災への取組 収益事業「朝市」

朝市は、各農協より仕入れた野菜、五島列島奈留島漁協の魚加工品、淡路島産鮎原米などの品を販売を公園で、隣接する会館とテラスでは、ふれあい喫茶を開催しています。それら実施は地域ボランティアが担い、開催前日の根付及び当日の販売は女性陣、朝のテント張りなど会場設営は男性陣が分担し、レジは地元の郵便局長が担当している。



大阪城南女子短期大学

子育て支援スペース
「JONAN こどもひろば KOMAクル」

駒川商店街の空き店舗を利用
駒川商店街・東住吉区役所の協力を得て実施。

KOMAクルのミッション
①地域子育て支援の拠点作り
②多様なニーズに応える子育て支援

KOMAクル情報
月、水、木、金は午前10時より午後2時まで
日曜日にも楽しいイベントがあります
<https://www.facebook.com/komakuru>



NPO法人Co.to.hana

「デザインで社会を変える」をミッションに活動するNPO法人Co.to.hanaが運営する地域プロジェクト
「地域住民が生きる社会」を目指す
「自分の特技や趣味を活かして活動したい人とちょっとした困りごとを抱えている人をつないでいる」

ひとしごと館
・浪速区に拠点を持つ
・定年退職者や主婦など地域と接点が少なくなった人が対象



NPO法人 南市岡地域活動協議会

防災防災への取組 収益事業「朝市」

場所: 南市会館+南市岡公園(大阪市港区)
日時: 第3土曜日(8月を除く毎月) 地域ボランティア約40名で実施
朝市は、各農協より仕入れた野菜、五島列島奈留島漁協の魚加工品、淡路島産鮎原米などの品を販売を公園で、隣接する会館とテラスでは、ふれあい喫茶を開催しています。それら実施は地域ボランティアが担い、開催前日の根付及び当日の販売は女性陣、朝のテント張りなど会場設営は男性陣が分担し、レジは地元の郵便局長が担当しています。

<ねらい>

- ・安心して住民が暮らせる地域(小学校災害用備蓄品の充実)
- ・社会理念の変化・価値観の多様化による人と人との希薄化
- ・買物などふれあいの場を提供し地域コミュニティの促進

<団体として活かした強み>

長年地域で活動してきたボランティア組織であるため、地域課題の解決を図る目的で実施していることへの住民理解は得られやすい。また公園利用など行政の支援も得られた。

<成果・手ごたえ>

行政だけに頼ることなく、地域が自律して地域課題を解決する具体的な取組み(朝市)は、対外的にもよい事例となり、継続して運営できていることが担い手の自信にもつながった。



コーディネーターが考える「ここがユニーク！」

にしよどにこネットへ

命の大切さだけでなく、関係性を繋ぎ直すということがユニーク。
(学校が与えるのではなく)母親がこの授業に子どもを関わらせたいと思うのが面白い。

てつたろうへ

今の社会、いいところばかり集めて、これでうまくいこう、といったアプローチが多い。そうでなくあえて逆のアプローチは効果的。

大阪城南女子短期大学へ

保育系の大学だから子育て...というのではなく、大学が商店街やさまざまな人や機関をまきこんでいく、というのが面白い。つなぐって大事なんだということがわかった。

Co.to.hanaへ

誰と活動をするのか、誰につないでもらったらいいのか、わからない人は多い。だからなかなかつながることができない。こういう拠点があればつながりやすい。

南市岡地域活動協議会へ

新しい活動をすることで、これまでかかわりがなかった新しい人が入ってきやすくなる。
町会など地域コミュニティが縮小しているところは少なくない。
地域のこれまで接点のなかった人を呼び込む新しい活動をつくることの可能性を感じた。

堀

一方、受け手によってはそんなうまくいけへんわ！という思いがあるかもしれない。課題は、取り掛かるにハードルはなかったのか？
そこを中心に伺っていく。

●福田

<取り組んだきっかけ>

学級崩壊・いじめ・自殺・虐待など子どもが被害加害となる危機的状況を背景に2002年、児童の保護者であるメンバーが「赤ちゃん・妊婦さん交流授業」企画し小学校の養護教諭と一緒に取り組んだことが始まり。うちの子にも授業受けさせたい！と他校に広がる。

NPO法人 にしよどにこネット



- 取り組んだきっかけ
 - 学級崩壊・いじめ・自殺・虐待など子どもが被害加害となる危機的状況を背景に、2002年、児童の保護者であるメンバーが「赤ちゃん・妊婦さん交流授業」企画し、小学校の養護教諭と一緒に取り組んだことが始まり。うちの子にも授業受けさせたい！と他校に広がる。
- 連携・協働者等
 - 学校、保護者(PTA)、子育てサークル、子育て施設利用親子、区役所保健福祉課、医師、助産師、大学教授、はぐみネット、民生委員、など
- 苦労されたことなど
 - 「授業開催までのプロセス」「顔の見える関係作り」
 - 学校・先生：授業導入への抵抗、引き継ぎ、予算参加；妊婦さんの参加(期間限定)、送迎

＜連携・協働者＞

学校、保護者(PTA)、子育てサークル、子育て施設利用親子、区役所保健福祉課、医師、助産師、大学教授、はぐくみネット、民生委員、など

＜苦勞されたことなど＞

- ・「授業開催までのプロセス」「顔の見える関係作り」
- ・学校・先生：授業導入への抵抗、引き継ぎ、予算
- ・参加：妊婦さんの参加(期間限定)、送迎

学校からは受け入れられなかった。手遊びさせてください、から入った。いいことばかりではない。

学校の先生は年度が替わると引き継ぎされていない。あまり情報共有されていないなど課題。妊婦はずっと妊婦じゃない。明らかな妊婦を探すのが難しい。安定期の5～6ヶ月妊婦に限られるので。

●柳川

＜取り組んだきっかけ＞

- ・誰もが輝ける会社にしたかった
- ・企業の障害者雇用率の現状を知って。

障がい者15歳でやめなきゃならない。やめさせないで、という戦い。賃上げ要求とかではなく。1冊の本。

スタッフへは、なぜ障がい者雇用をするのか、なぜ自殺者をなくしたいのか1人1人2時間かけて説明。

・＜連携・協働者＞

- ・想いに共感してくれた一人の男性
- ・複数のNPO法人

誰か紹介して！と言っていたら、大手すしチェーンの方と知り合えた。無報酬。プライベートを使い、協力してくれた。

また複数のNPO団体、ホームレス、母子家庭病児保育など協力をしてくれた。

・＜苦勞されたことなど＞

- ・なかなかうまくいかないことが多いこと
- ・宗教に入ったのか？と言われること 笑

思うようにはなかなかいかないこともあるが、次どうやって解決していったらいいか、現場のスタッフが主体的に動いてくれるのがありがたい。

●中津

＜取り組んだきっかけ＞

大学として、地域貢献を目標として取り組むことを掲げた時期に、大阪府の商店街サポーター創出・活動支援事業において優秀プランとして選ばれた。

大阪府の事業。保育教員を保有の強みを活かすということで実現。

KOMAクル立ち上げの際は自身は関わっていない。駒川商店街と一緒にICTでどう盛り上げるか、つまり別事業をやっていた。

- ・情報は相手にとって意味のあるものでないと意味がない。
- ・だから現場に入って活きた情報に触れようとKOMAクルPJに入り、今に至る。

＜連携・協働者＞

駒川商店街・東住吉区役所

＜苦勞されたことなど＞

関係する人間の温度差
温度差を縮めるのは本当に難しい。

でも自分の専門に関わると考える先生は真剣に考える。自分と関係なかったら単純なプラスα。そういう人たちに対し、協力した方がいいよ？という仕組みをしっかり考え、説得すること。保育の先生と協力してやってきた。



旬菜鮮魚をつらろ (株式会社フォーシックス) 

- 取り組んだきっかけ
 - ・誰もが輝ける会社にしたかった
 - ・企業の障害者雇用率の現状を知り
- 連携・協働者等
 - ・想いに共感してくれた一人の男性
 - ・複数のNPO法人
- 苦勞されたことなど
 - ・なかなかうまくいかないことが多いこと
 - ・宗教に入ったのか？と言われること 笑



大阪城南女子短期大学 

- 取り組んだきっかけ

大学として、地域貢献を目標として取り組むことを掲げた時期に、大阪府の商店街サポーター創出・活動支援事業において優秀プランとして選ばれた。
- 連携・協働者等

駒川商店街・東住吉区役所
- 苦勞されたことなど

関係する人間の温度差：
文字には書きづらいのでお話しします(笑)

●田中

＜取り組んだきっかけ＞

- ・区の委託事業募集に応募(「助け合い・仲間づくり」事業)
- ・親の状態、取り巻く社会状況に危機感を持った代表の思い
- ・約1年事業設計(ヒアリング・事例収集)に時間をかけ、
- ・その後事業を開始

＜連携・協働者＞

- ・社会福祉協議会、老人福祉センター(浪速区・鶴見区)
- ・自治体(浪速区市民協働課)ケアマネジャー
- ・企業、クリエイター

＜苦勞されたことなど＞

- ・住民の方への認知
- ・コミュニティづくり
- ・自主運営への課題

●松井

＜取り組んだきっかけ＞

収益率が高いのは「朝市」と、当法人設立時に鶴見区NPO法人緑の家よりアドバイスをいただき、緊急課題であった災害用備蓄品充実に南市岡地域らしい発想で取組んだ。

＜連携・協働者＞

港区役所や港区まちづくりセンターなどは、朝市の事例紹介を含め情報発信を担い、地域の郵便局や港区の企業の協力連携し運営。

＜苦勞されたことなど＞

各ボランティアの顔が見えるまとも地域でもありますし、区長が認定する組織ですので行政の支援もあり、取組みとして苦勞と感じたことは無い。

南市岡は地域としてまとまった地域。いつでもずっと集まれる地域。

行政から色々情報をもらったのでネットワークが広がった。そこは地活協としての強さだと思う。

研究会のことと絡めて話を伺う

居場所問題がどのテーマでも上がった。

居場所についてのお話、簡単な実践方法について

●福田

★対象の立場に立って考えると、安心して連絡できる場がある方がいい

1996年～1998年子育てネットワークを構築する際の話。

小サークルが増えてきたのでネットワーク化しようということで、参加にあたっての連絡窓口を家の固定電話にしていたところ、夫が電話をとり、つれない対応をしたため、駄目になったケースがあった。

その出来事が引き金となり、自分たちの拠点が欲しい！

安心して電話をかけられて対応できるようにしたい！

だからNPO法人化した。

★気になる場所があればチェック。そこを使いたいアピールを続ける

他にプレハブ倉庫があったのを地元の方に改装してもらい子育て広場に。

区役所から市営住宅の1F、プロポーザルチャレンジで採択、会所。

区役所1Fの空いたままの食堂。プロポーザルチャレンジで採択、会所。



NPO法人Co.to.hana

- 取り組んだきっかけ
 - ・区の委託事業募集に応募(「助け合い・仲間づくり」事業)
 - ・親の状態、取り巻く社会状況に危機感を持った代表の思い
 - ・約1年事業設計(ヒアリング・事例収集)に時間をかけ、その後事業を開始
- 連携・協働者等
 - ・社会福祉協議会、老人福祉センター(浪速区・鶴見区)
 - ・自治体(浪速区市民協働課)ケアマネジャー
 - ・企業、クリエイター
- 苦勞されたことなど
 - ・住民の方への認知
 - ・コミュニティづくり
 - ・自主運営への課題



NPO法人 南市岡地域活動協議会

- 取り組んだきっかけ

収益率が高いのは「朝市」と、当法人設立時に鶴見区NPO法人緑の家よりアドバイスをいただき、緊急課題であった災害用備蓄品充実に南市岡地域らしい発想で取組みました。
- 連携・協働者等

港区役所や港区まちづくりセンターなどは、朝市の事例紹介を含め情報発信を担い、地域の郵便局や港区の企業の協力連携し運営しています。
- 苦勞されたことなど

各ボランティアの顔が見えるまとも地域でもありますし、区長が認定する組織ですので行政の支援もあり、取組みとして苦勞と感じたことは無いように思います。



NPO法人 にしよにごネット

「居場所づくり」について さまざまな拠点

ついでに広場
にっこりRoom

にっこりRoomがはじまった (2009年1月～)

にっこりRoomがまちなち (2009年12月～)

みんなて子育て
楽しく子育て

高槻川区役所 に～よんステーション (2019年4月～)

●柳川

★切り分けすぎない曖昧な居場所があつていい

大家族で育つ。集まりの時は親戚や知りあいが累計150~200人くらいが入り出すような賑やかな家であったが、平素は、夕方帰ってきたら誰もいないことが多かった。両親は共働きで、兄らは遊びに。

近所の中華料理店の前でうろうろしていたら、店主が声掛けをしてくれ、店に入れて無料でチャーハンセットを食べさせてくれたという思い出があり、今も忘れられない。店主の裁量ひとつでそこは子どもの居場所になり得た。

世の中切り分けすぎて、男女切り分けすぎて、学校でも周囲から障がい者がいなくなった。共に学ぶ機会がなくなった。どんな子も分け隔てなく入れてもらえるような居場所をつくるべき。

★地域をすぐに変える力を持っているのは企業。経営者が変わらないと。

地域も会社も切り分けすぎた。一番考えるべきは経営者。

勤労、教育、納税の3大義務があるが、勤労する、ということについて、社長が自分のこと、儲けのことしか頭にない人で、そんな経営者の下で働いていると世の中は良くならない。社長が変わると役員が変わる、社員が変わる、社員の家族が変わっていくことで地域が変わると思う。そうしたことから、国、行政より変える力を持っているのは企業じゃないか、と思っている。

てつたろうでは西成に喫茶店を1店舗、羽曳野と中崎町に1店舗ずつ展開。

土曜日、無料で子どもにちらし寿司をふるまう取組を始めた。

今後、子ども食堂的なものに発展させていきたい。

●松井

★障がい者の自立を支援する24時間体制のグループホーム開設を実現

障がい者の方の住まいを探すのがとても大変。

自分たちでその場所をつくらうと始めたのがグリーンハート南市岡。

障がい者を地域で支えるという取組みで、障がい者同士の共同生活を通じて、自立を支援する。それにより、本人のみならず、家族の心配も軽減。

●田中

★活動主体として一緒にやりましょう、考えましょうというスタンスこそが居場所

役割がある、その人自身が一步踏み出す。その人の目的がひとつでもつくれるということが大事。麻雀、ゴミ拾い、何か活動がひとつでもつくれる。

自分たちは関わる人たちをお客様、担い手と区切らない。

活動者と一緒に行動指針を考えて言語化したり、この場所をどうしたいなど企画から一緒に考えるスタンスこそが、その人にとっての居場所と考えている。

●中津

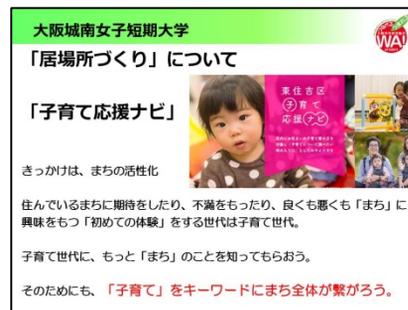
★居場所にしろ、有益な情報は町の中にたくさんある。届いていないだけ。

リアルに居場所をつくるのは難しい。でも居場所があることを知ってもらう活動ならすぐにできるはず。

タウンデザインアドバイザーをさせていただいていることもあり、居場所は地域に実際にはたくさんあると感じている。子育て層向け、高齢者向け。利用されないだけ。なんでやる？行政がやること、区民がどれだけ興味あるか、ということにも関連するが、情報がきちんと届いていない。だから自分が住んでいる場所のこと何も知らない。行政がやることをしっかり知る。それだけでも変わるはず。

★まちの情報を子育て層に合わせて再編集するとまちの活性化につながる

まちの活性化の前に、まちに興味を持たせなければ。何か興味を持つとしたら子育て世代。ピンポイントだが、行政、まちの活動を知ってもらううえで、情報を開発、編集しやすいジャンル。まちに自分たちに助けてくれるものがある、と子育て世代に理解してもらう。自分たちの活動が居場所になる、ということを実業所などに知ってもらう。「うちの事業所スペース、居場所になる」とか、「うちの店、全然宣伝になってなかった」というのにも気付く。



【大阪のさらなる活性化】

大人も子どもも心が豊かになることで地域力が上がる。
まず自分を大切に。自分が豊かであるなら他人に優しくなれる。
子どもだけ、高齢者だけ、〇〇だけ...と区切らず、多様な支援団体につながる場を
たくさんつくっていくこと。その場づくりを通じ、コーディネートできる人を増やす、

西淀川区には福祉」をテーマに、NPO、企業、任意団体、個人等さまざまな活動主体がつながるにしよどリンクという交流会をかなりの頻度で開催している。ファシリテートできる人、キーパーソンとなっている存在は、「にしよどリンク」より誕生しており、そのキーパーソンは、同時にさまざまな地域活性プロジェクトのヘッドとして活動、当事業でもいくつか取材もしている。活動主体間連携が良く、団結力が感じられることから、経験に基づいた根拠ある提言である。

【誰もがいきいきと暮らせる大阪】

人間は万物の王者だという説。けれど物理学レベルなら皆同じ。
人間のこと、もっと学ぶ必要がある。思考を地球規模に広げることで些細なことは気にならなくなるもの。
寛大さ、ゆとりある心がいろんな課題を抱えた方と共存するには不可欠。

柳川社長は人間学、それに基づいた行動学などさまざまな著書に触れ、インスパイアされて行動を実践されて来られた背景がある。自分さえ良ければ、儲かりさえすれば、そうした身勝手な考えをする人は人間としての勉強不足という鋭い指摘をされた。また、区切りすぎの世の中、仕組みを嘆かれています。子どもの鳴き声なども「これが大阪らしい」という発言があったが昔の曖昧な、線引きしない社会への憧憬もあつての提言である。

【子育てを応援する大阪】

プラス「子育て」、プラス「子ども」という発想で情報を再編集。
活動主体にとっての新たなイベント、新たな事業活動に。
もし現状の事業活動に課題がある、悩みがあるなら必ず幅が広がる、深くなるであろうことは間違いない。

既存のサービス、既存の情報であっても、そこにプラスα「子育て」、「子ども」とすることで、情報の価値が上がる可能性を示唆。また子どもに優しい、子どもを育てる保護者に優しいサービスというのは、どんな人にとっても優しいサービスということが言え、子育てをお応援するのみならず、地域活性にもつながる提言である。

【高齢者が輝く大阪】

可能性を狭めないこと。高齢者はいつまでも輝ける。
高齢者だからここまでは難しいだろう、などという押し付け思想では大事なアイデアが消えてしまう。
高齢者自身がどうありたい、というのをいかに共有していくかということを忘れてはいけない。」

浪速区委託事業 ひとしごと館で多くの地域高齢者と協働しながら活動を生み出す経験から伝えられたこと。Co.to.hanaの活動対象＝地域住民というだけでなく、共に地域のお困りごと解決、地域をさらによくするという目的のもと同じ活動主体として、「〇〇と一緒に考えてくれますか?」「〇〇と一緒にやってくれますか?」という具合に高齢者だからと妙に気を遣わず、遠慮なく巻き込むスタンスとしていくこと。高齢者へのいい関係性づくりへの提言である。

【いざという時も安心な大阪】

人づくり。おせっかいなおじさん、おばさんをいかに増やしていくか。
他人を放っておけないから構いたくなる。そういう人たちが地域の柱となり、大きな力となる。
そうして安心・安全なまちづくりにつながると思う

朝市、百歳体操、ふれあい喫茶、食事サービスなど担い手となる人たちはいい意味でおせっかい。構うこと、構われること、それが心地いい関係性に昇華できることで、自然と見守る体質の地域となる。環境整備以前に人づくりの重要性に言及した提言である。

【最終まとめ】

誰かに言われるのを待つのでなく、
半歩出てちょっと声かけてみる、ちょっとしたおせっかい。
一歩でなくていいので半歩でいい。
みんなでそれを心がければ変わるはず。



ワークショップは始めのグループでディスカッションを実施。
 ①実現したいことを決め、真ん中のマスに記入
 ②周囲のマスにそのために必要なことを記入していく
 (必要なことが実際に提供できる人はその下に名前を書く)
 ③意見が出尽くしたら、一人を残して、全員が移動。
 ④マスが埋められないグループなどに入り、一緒に考える。
 全14グループ、14の協働モデルプランについて話し合われた。
 実現性の高いものを6つ選出。選に漏れたものについては、アイデア
 ディスカッションは活発に行われてはいるが、誰がそれを提供できる
 かというところまで明確化されていないため、実現性の高いプランと
 しては除外した。

実現可能な協働モデルプラン6選

① ファシリテーター (専任)	場所(機会) ふれあいまつり ZELIA	人 (働いている?)
ネットワーク化 - さらば介護人 ネットワーク ネットワーキング	実現したいこと 男性より地域 に集まる? (仕事テーマは別)	場所(機会) ひとしごと館 田中さん
	宮庭仕事テーマ に、早稲(京、若) で交流会	場所 大学 大阪城南女子短大 中津地区

<実現したいこと>

65～70歳代以上の男性の集いの場を地域でつくりたい
 テーマ: 職業(昔取った杵柄)
 余暇がなかった、趣味がない、でも仕事好きというの
 はいいこと! それを語り合い、自己肯定感を持って、前向
 きに社会に活かそうと考えられるような場をつくる。
 男性の井戸端会議をすぐに開きたい
 ★森さん(淀川助け合い)
 モデル的にできるかもしれないので企画をしてみる
 ★柴田さん(ひとしごと館)
 →強いニーズがあり、それに応えられる場所や人材など
 保有している強みを活かし、モデル実施が見込める。

② 外出したい 希望に合わせる ケアマネ 吉見	生かす、役割!! 認知症予防サポート 鳴川	健康促進 アウトカム 健康寿命延伸 (二日活) 鳴川 玉
認知症予防サポート 希望	実現したいこと 住みなれたまちで 人生をまっとうする	立ち上げ希望 認知症予防サポート 認知症予防サポート (二日活) 鳴川 玉
自分らしく生きる	認知症予防サポート 話し合おう 中嶋	認知症予防サポート 話し合おう 鳴川 玉

<実現したいこと>

(人が)住みなれたまちで人生をまっとうする
 外出したいきっかけづくり、安心して出かける
 ★ケアマネ 吉見さん(入浴サービス株式会社)
 生涯現役! 地域での役割を果たす、感謝される活動
 健康促進、健康寿命を延ばす、孤立防止
 ★鳴川さん(認知症予防サポート協会)
 後で困らないために残しておくもの(終活)
 ★中嶋さん(つくだ行政書士)
 →実現したいことに向け、専門的に事業を展開している
 事業者が集まったことで実現性が高い。

実現可能な協働モデルプラン6選

⑥ 話し合いの場 (まきこみ)	食料	ホットプレート なべ
何がしたいのか? わかりやすく説明できるPRツール Co.to.hanaさん	実現したいこと 自分の活動の場のために 地域に開く (中央区)活用してもらいたい	場所を使ってくれ る人 グループ
地域のキーパーソン つなげてもらう イベントに出席する 喫茶、子育てサロン 天壽橋で活動	お金	参加してくる人

<実現したいこと>

自分の活動の場、スクールを地域に開く(中央区)活用してもらいたい!

なにがしたいのか?わかりやすく説明できるPRツール

★Co.to.hana

地域のキーパーソンにつなげてもらう

地域イベントに参加(喫茶、子育てサロン)

★浅野さん(浅野経営研究所)

場所を使ってくれる人、グループ

★畑中さん(個人活動、エステティシャン)

★新たなコラボ事業を始めるにあたっては中嶋さん

(つくだ行政書士)に相談

→強いニーズがあり、それに応えられる場所を保有している強みがあることで実現性が高い。

⑦ 自分の時間	心の余裕	つぎの場
保養施設 マツナゴ サト	マツナゴ サト	マツナゴ サト
相談できる人	実現したいこと 子育て親の 笑顔と健康	体を動かすこと
ママ マツナゴ サト		マツナゴ サト
家族の時間	自分も大切にしたい	心で大笑いする
親(母) マツナゴ サト	マツナゴ サト	マツナゴ サト

<実現したいこと>

子育て親の笑顔と健康

自分の時間(保養施設、託児所)

相談できる人(ママ友、近所づきあい)

家族の時間(食事や遊び)

集いの場(サークル、フォーラム)

体を動かすこと(ヨガ、体操教室)

★松本さん(株式会社プラスキッズ)

★木佐貫さん(まごころへそファミリー)

→必要なものやことを保有する事業者、草の根運動的な活動を始めたばかりと思われる活動家がメンバーに入っているため、コーディネートが入れば実現性が高そうなプラン。

⑧ 行動する 雇用内職 生活性サービス	人 お義母さん お義父さん	ひとりひとりのパート ・塩 ・あおり ・みかゆき
場所(居場所)	実現したいこと 「えーやん」 自然のまま 速くあいらず	うけつぎ:共感 ・あおり ・みかゆき 否定しはり
知識 正しい事 知る事	言葉で伝える ・あおり ・みかゆき	勇気 僕がまっぴら

<実現したいこと>

魔法のことは「えーやん！」

大丈夫!自然のまま、違って当たり前なことの理解促進言葉で伝える(当事者の声、リアルな交流)

★柳川さん(てつたろう)

★山崎さん(Life hospitality management service)

★宮脇さん(淀川区まちづくりセンター)

→当事者としての講演活動や交流を行っている方がメンバーに入っているため、コーディネートが入れば実現性が高そうなプラン。(交流会、研究会実施等)

⑨		放課後事業が 土曜に実施できる いるか確認する
	実現したいこと 子供たち(プログラミング)を 拡げたい	在協等に話さず 隣居者等に講師を 紹介してもらう

<実現したいこと>

子どもたちにプログラミングを広めたい!

★河合さん(株式会社アルファテック)

★森田さん(弁天地域活動協議会)

→お名前の記載がないが、グループ割よりアルファテック河合さんと弁天地域活動協議会の森田さんと想定。学校の土曜学習での実施や、社会福祉協議会との連携などスキームをどうするかまで明記があるので、コーディネートが入れば実現性が高そうなプラン。

その他ワーク結果

③ 子育ての関わりを みたくする。	早朝から夜遅くまで 預かることができる (いっしょに寝る・昼食) 保育士の役割	保育園を増やせる 保育士 資格の取得見直し
子育て支援の充実	実現したいこと 保育園の中で 母親も育児できる...	保育園を作る事への反対の 説得
仕事時間の短縮 (10時〜4時30分)	企業努力	保育園の場所の確保

⑤ 美研のイベント 入りこい... イベントの開催	美研のイベント 開催のイベント 開催のイベント	美研のイベント 開催のイベント 開催のイベント
美研のイベント 開催のイベント 開催のイベント	実現したいこと 地域の魅力 発信!	美研のイベント 開催のイベント 開催のイベント
美研のイベント 開催のイベント 開催のイベント	美研のイベント 開催のイベント 開催のイベント	美研のイベント 開催のイベント 開催のイベント

⑦ 大阪の観光客の 興味を引く		大阪の観光客の 興味を引く
大阪の観光客の 興味を引く	実現したいこと 大阪の情報 の発信	大阪の観光客の 興味を引く
	外国人向け	大阪の観光客の 興味を引く

⑧ IT技術者の学校への参入	IT技術者の学校への参入	IT技術者の学校への参入
IT技術者の学校への参入	実現したいこと 大阪を盛り上げる (IT)	IT技術者の学校への参入
IT技術者の学校への参入	IT技術者の学校への参入	IT技術者の学校への参入

⑨ 強固な人間関係	訓練	避難場所 ビル
マンパワー	実現したいこと 被災者ゼロ!!	備蓄品の充実
知識の構築	安心・安全な まちづくり	正確な情報 取得

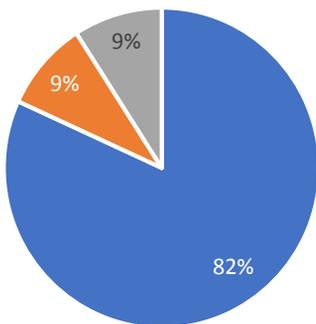
⑩ 人 障がい者	人 脳卒中後遺症株	人 500人 セブンヤウ
会場 大阪城ホール	実現したいこと 「1万人の第九」 のようなイベント をする!	担い手 歌える人等才能を 発揮できる人
スポンサー		

⑪ セミナー ・X17	健康面でのケア ・不登校 ・アロ?	編作り
	実現したいこと オーガニックが 広がれば良い 環境にやさしい。	「マーケティング」
		農業体験

⑫ 防災	日本人に対する 正しい日本語教育	日本語を知ってもらう
日本の文化を 伝える	実現したいこと 様々な文化を受け 入れて外国人も日本 心地いい関係地域 づくり	相手の文化を知る
世界の文化を 知る ・日本文化の 普及 ・日本の 世界の 世界の 世界の	日本語の 普及	各国料理教室

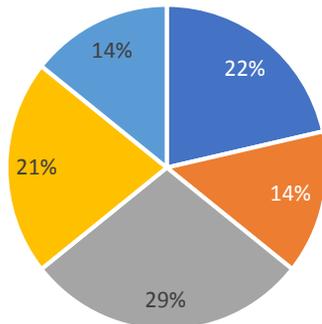
3月10日(日)大阪市市民活動フォーラムアンケート集計結果

活動地域



■ 大阪市 ■ 豊中市 ■ その他

団体種別

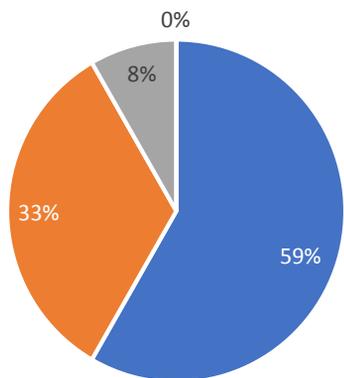


■ 企業 ■ NPO法人 ■ 任意団体 ■ 個人 ■ その他

活動地域「その他」について山形県の芸術大学より、お一人ご参加があった。(満足度は高かった)

団体種別は割れ、多様な方々に参加いただいた。

Q1.フォーラム全体を通じて、いかがでしたか？あてはまるものをひとつだけチェックしてください。



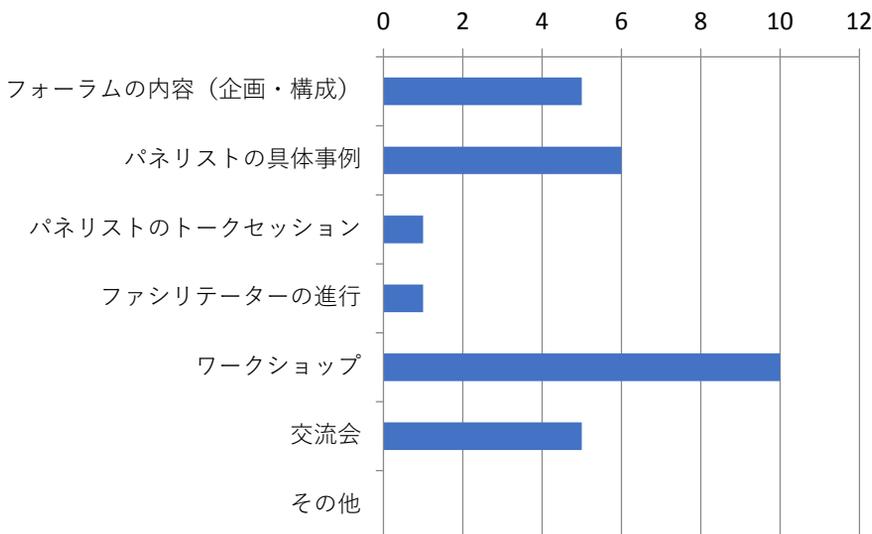
■ 非常によかった
■ よかった
■ あまりよくなかった
■ よくなかった

<自由回答>

- 子育てに取り組まれている方の話が聞けて良かった。
- 色々な活動があることがわかった。
- 普段思っていた事でも他の人の意見を聞いてまた改める時間になりました。他の人でもボランティアや地域貢献で変な目で見られることもあるのだと。励みになりました。ありがとうございました！
- 大阪の市民活動の事例と、都市部ならではの工夫や課題を知れた
- ためになったから
- 大勢のかたと交流できました

全体を通じた満足度は高く、プラス評価は92%。

Q2.よかったものについてお聞かせください(複数回答可)



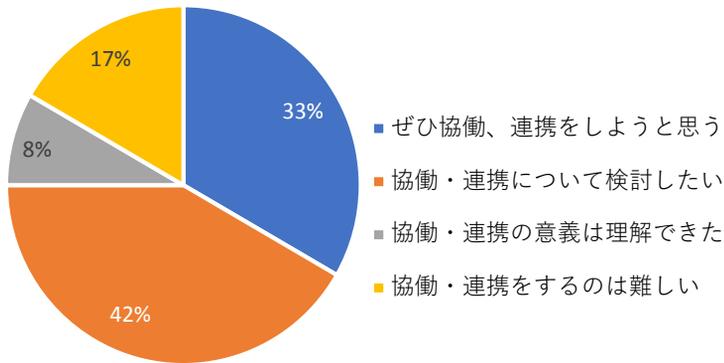
<自由回答>

- 良い出会いがあった
- がんばっているいろいろな分野の方とお会いできた

最も評価が高かったのはワークショップだった。次いでパネリストの具体事例紹介、フォーラムの内容(企画・構成)と交流会と続く。

3月10日(日)大阪市市民活動フォーラムアンケート集計結果

Q3. 今回のフォーラムは、今後、他団体等との協働や連携した取り組みを始めるきっかけになりましたか？
ひとつだけチェックしてください。

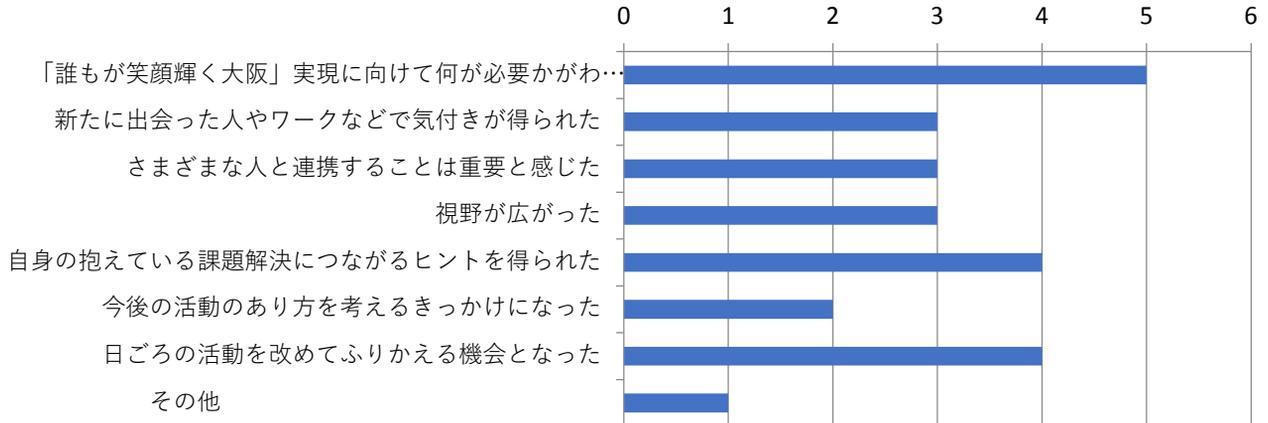


<自由回答>

- 福田さん、中津さんと何か関わりたい
- 個だけで動いていても、できないことはたくさんあるんだと改めて感じました
- 1人でするのには限界がある、社会をよくすることは皆ですること、だと思うのでぜひやりたい。
- 初めて会った方に励まされて
- <難しいと答えた理由>
- 企業ではないため

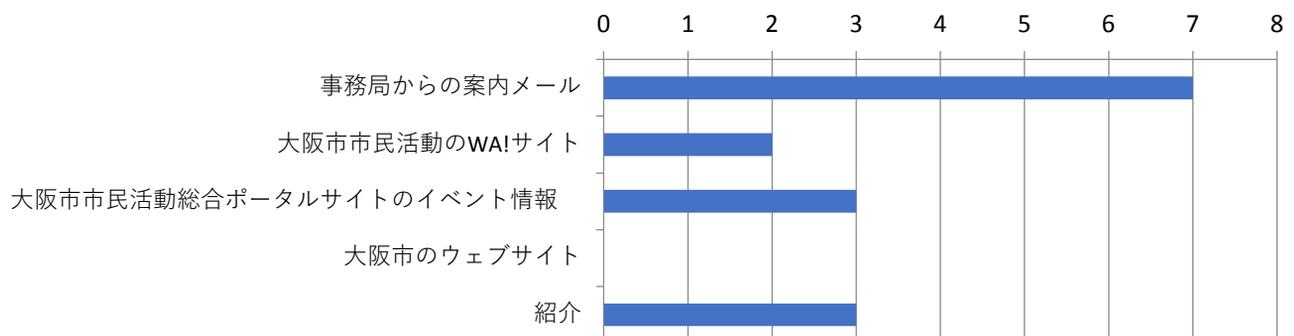
連携・協働に対するポテンシャルは高く、「ぜひ協働・連携をしようと思う」、「協働・連携について検討したい」の前向きな回答で75%。「協働・連携が難しい」と回答した方の理由として「企業ではないため」とあったことから、個人の活動家ないしは資源を持たない任意団体などの可能性があり、こうした方々の底上げをする必要があると考える。

Q4. 参加して、ご自身の気持ちに何らかの影響はありましたか？(複数回答可)



『「誰もが笑顔輝く大阪」実現に向けて何が必要かがわかった』が最も多く、次いで「自身の抱えている課題解決につながるヒントを得られた」、「日ごろの活動を改めてふりかえる機会となった」の2つが続く。フォーラムの狙いとしていたことが伝わったことには大きな意味がある。

Q5フォーラムは、何でお知りになりましたか？(複数回答可)



事務局からの案内メール、つまり登録団体(=研究会メンバー)であることは参加者の顔ぶれから明確だった。それ以外に、ポータルサイトのイベント情報のトップに表示されるようにする等の工夫、架電やリマインドメール等の活動が功を奏したのかさらなる増員につながったことが伺える。